

題材「英語に親しもう！『Taste』」（第1時）

1 本時の学習計画 2 時間中の第2時

(1) 学習のねらい

「味」についての英語に触れてきた子どもたちが、前時の振り返りやキーワードゲームを行なう活動を通して、英語を使って表現する楽しさに気づき、日常生活の中ですすんで英語を話そうとする気持ちを持つことができる。

(2) 本時の学習材

ビンゴゲーム

○前時までに「味」についての英語に触れてきた子どもたちは、さらに英語による「味」の表現方法に慣れ親しみたいと思うだろう。そこでこの学習材を提示する。

○本学習材は、「味」の表現キーワードを決め、その味に関連する食べ物とのつながりを意識しようとする学習材である。子どもたちは学習材を用いて活動を行なうことで、問題に取り組む面白さ・楽しさに気づき、英語を聞いてその表現を感じることが期待できる。

(3) 学習の展開

過程	学 習 活 動	予想される子どもの動き	時間	指 導 と 評 価
課題把握	1 味に関わる言葉について確認する。	学習問題 「味」は英語でどんな表現できたかな？ ・ Sweet. ・ Spicy. ・ Yummy.	15'	・ スクリーンに色々な味の食べ物を投影する。 ・ それぞれどんな味かを問う。
展開	2 子どもたちに好きな食べ物をあげてもらい、どんな味かそれぞれ語り合う。	・ 僕、私〇〇好き。 ・ strawberry. ・ それは Sweet !	10'	○ 子どもたちから出た食べ物を取り上げ、どんな味が問う。 学習材 ビンゴゲーム
終末	3 ビンゴゲームをする。	・ やってみたい。 ・ 食べ物が思いつかないなあ。 ○ 楽しい。面白い！	20'	○ ルールの説明をし、食べ物の名前を記入してから、始める。 評価 英語に親しもうとして いるか、活動の様子から捉える。

2 子どもと題材（略）